

オンライン開催
無料

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた 地域プラットフォーム 形成シンポジウム

第1回ワークショップ

2021年3月19日(金) 13:30-18:00

対象 全国の産学官連携従事者の皆さま /
コロナ対策に係わる地方自治体の職員の皆さま
定員 300名

ABOUT

JARECでは、コロナ禍における社会課題解決を目的に「第28回 地域を活かす科学技術政策研修会」を開催し、地域における新型コロナウイルス感染症対策の課題と解決に向けた広域・産学官連携の取り組みについて、情報提供と意見交換を行いました。とくに基調講演では、ワクチンとウイルスのメカニズムについて専門家からご講演を戴き、現場の「行動規範」構築の一助となれば幸いです。新型コロナウイルス感染症対策の課題と解決に向けた広域・産学官連携の取り組みについて基調講演と意見交換を行いました。

SCHEDULE

- 13:30 ● 本ワークショップの進め方について
- 14:00 ● 基調講演①(基調講演／質疑応答)
「新型コロナウイルスとワクチンのメカニズムーコロナ対応の行動規範を考える」
第一三共株式会社 バイオロジクス本部 ワクチン研究所 所長 武下文彦氏
- 15:00 ● 基調講演②(基調講演／質疑応答)
「Withコロナ社会の見取り図ーウイルスとの共生の視点から」
国立大学法人長崎大学 熱帯医学研究所 教授 山本太郎氏
- 16:10 ● ワークショップ(事例紹介／質疑応答)
①「産学官連携による皮膚モデル開発事例」
(地独)青森県産業技術センター 工業総合研究所 葛西裕氏
②「平成30年間の神奈川県科学技術活動からの
科学技術イノベーション・エコシステム活動で新型コロナウイルスとどう戦ったか?」
神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム副事業プロデューサー 牧野義之氏

SPEAKERS & OVERVIEW

基調講演①



武下 文彦 氏

第一三共株式会社 バイオロジクス本部 ワクチン研究所 所長

概要

新型コロナウイルスとワクチンのメカニズム及びワクチン接種までのプロセスについて学ぶ。また、ワクチンの安全性・有効性及びワクチン接種の留意点を知ることによって現場での行動規範の検討に繋げる。

基調講演②



山本 太郎 氏

国立大学法人長崎大学 熱帯医学研究所 教授

概要

新型コロナウイルスの封じ込めの対策と対応が打たれる一方、コロナ後の社会のあり方が模索されている。真に感染症を克服するため「ウイルスに対するしなやかで柔軟な社会づくり」に向けてどのような働き掛けが必要なのか、人類と感染症の歴史からの教訓を学び未来を想像する力を蓄えたい。

ワークショップ①

葛西 裕 氏

(地独)青森県産業技術センター 工業総合研究所

概要

青森県産業技術センターでは、東北大学クリニカル・スキルスラボ、株式会社アピールとの産学官連携により、ECMO(エクモ、体外式膜型人工肺)導入訓練に使用される皮膚モデルを開発した。本発表では、①皮膚モデル開発の経緯、②皮膚モデルの特徴、③製造方法および人材育成の取組について紹介します。

ワークショップ②

牧野 義之 氏

神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム副事業プロデューサー

概要

神奈川県では、県衛生研究所、理化学研究所、ダナファームとの共同研究により、新型コロナウイルスの迅速検出法であるスマートアンプ法の試薬開発に成功し2020年2月に発表しました。本発表では神奈川県によるライフサイエンス分野の研究活動と、スマートアンプ法の研究開発背景と特徴について報告します。